デビュー50周年記念

千住真理子



ヴァイオリン・リサイタル

ピアノ:丸山 滋

PROGRAM

J.S.バッハ: 無伴奏ヴァイオリンのためのソナタ 第1番より 第1楽章 アダージョ

J.S.バッハ:G 線上のアリア

ヘンデル:ラルゴ

ベートーヴェン:ロマンス 第2番

ベートーヴェン:アダージョ・カンタービレ

~「悲愴ソナタ」より

ヴィターリ:シャコンヌ

クライスラー:ウィーン狂詩的小幻想曲

クライスラー:美しきロスマリン

クライスラー:愛の悲しみ

クライスラー:愛の喜び

アイルランド民謡/クライスラー編:

ロンドンデリーの歌

メンデルスゾーン:歌の翼に

ゲーゼ/千住明編:ジェラシー

※プログラムは変更になる場合があります。

2025

6.29_(目)

開演 14:00 開場 13:15

佐倉ハーモニーホール

千葉県佐倉市王子台1-16

©Kiyotaka Saito (SCOPE)

A席: 4,000円 B席: 3,500円 U-25(25歳以下): 3,000円

※公演中止の場合を除き、ご予約・ご購入後のチケット の払い戻し、変更、キャンセルはお受けできません。 あらかじめご了承ください。

※無料託児室あり(公演2週間前までに要予約)

※未就学児の入場はできません。

※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、 または佐倉国際交流基金の会員の方は、各席料金より10%割引にてご購入 いただけます(25歳以下の方を除く)。

チケットのお申込み・お問い合わせ

佐倉ハーモニーホール Tel 043 (461) 6221 インターネットからの予約もご利用いただけます。 詳しくは、ホームページをご覧ください。





デビューから50年のヴァイオリニスト人生。 山あり谷ありの険しい道のりを、疾走したり歩いたり、 時に道に迷い遭難すればひとに助けられ、涙流せば 友達がそばにいてくれた。

苦楽を共にした父母も恩師も、今はもういないけど、 相棒ストラディヴァリウス "デュランティ" がいてくれる。 いま奏でる音は、この50年のわたしの全て。

この音色をあなたの心に届けたい。

精一杯の「ありがとう」をこめて――

千住真理子

为此为江了

2歳半よりヴァイオリンを始める。全日本学生音楽コンクール小学生の部全国1位。NHK交響楽団と共演し12歳でデビュー。日本音楽コンクールに最年少15歳で優勝、レウカディア賞受賞。パガニーニ国際コンクールに最年少で入賞。2002年秋、ストラディヴァリウス「デュランティ」との運命的な出会いを果たし、話題となる。これまでに多くのCDをリリース。最近では2023年11月に千住明のプロデュースによるアルバム「ARIAS」をリリース。また山田洋次監督作品「こんにちは、母さん」のサウンドトラックに参加。2024年は9月にデビュー当時の音源も収録した「ベスト&レア」アルバムをリリース。2025年はデビュー50周年を迎える。

コンサート活動以外にも、講演会やラジオのパーソナリティを務めるなど、多岐に亘り活躍。また、チャリティーコンサート等、社会活動にも関心を寄せている。著書は「聞いて、ヴァイオリンの詩」(時事通信社、文藝春秋社文春文庫) 母との共著「母と娘の協奏曲」(時事通信社)など多数。

千住真理子オフィシャル・ホームページ https://marikosenju.com/

丸山 滋 (ピアノ) Shigeru Maruyama, Piano



東京藝術大学大学院修士課程を修了。修了時にクロイツァー賞を受賞。植田克己氏に師事。1992年よりドイツ学術交流会(DAAD)の政府奨学金留学生として、ミュンヘン音楽大学マイスター課程に入学。ピアノをクラウス・シルデ、歌曲演奏法をヘルムート・ドイチュの各氏に師事。1994年、ハンス・プフィッツナー歌曲コンクール(ミュンヘン)において歌曲伴奏特別賞を受賞。同年、ミュンヘン音楽大学を修了。1995年の帰国後は多くの一流演奏家たちから大きな信頼を寄せられるパートナーとして、日本全国各地や海外でのリサイタルやCD録音など、様々な機会で盛んな共演を行っている。1997年、J.S.G.国際歌曲コンクール(東京・大阪)において優秀伴奏者賞を受賞。ソリストとしても、2014年札幌コンサートホールKitaraでの「丸山滋ピアノリサイタル~死への追憶・生への讃歌」が札幌市民芸術祭大賞を受賞。ソロ、室内楽、歌曲などピアノが関わる幅広いジャンルの作品に分け隔て無く取り組む演奏活動を続けている。

東京藝術大学において室内楽科および声楽科非常勤講師を経て、現在同大学ピアノ科非 常勤講師。